

ルルドの丘

2013
6月
No.26



目
次

みことば・きらりん	2
巻頭言	3
ヴォイス(1)	4
おでかけ・できごと	6

ヴォイス(2)	8
ぽっかぽか	10
ぴかぴかぴか・お知らせ・人事・ご寄附	11
行事予定・編集後記	12

社会福祉法人 聖母の騎士会
恵 の 聖 母 の 家
児童発達支援センター めぐみ

みことば

この世で一番美しいことは
神さまが私たちを
愛して下さるよう
に私たちも互いに
愛することです
私たちがこの世にいるのも
この目的のためです
マザーテレサのことば



きらりん☆カラオケクラブ

毎月1回、病棟ホールでカラオケクラブを行っています。メンバーの方が4名、自由参加もあり、毎回多くの方が参加されています。各自が好きな曲を持ちより、自由に声を出したり手を振り体で表現してみたり、また、歌詞を見ることなくフルコーラスを歌う方もおり、周囲を驚かせてくれています。前に出て歌わない方も、楽器を持ち応援したり、一緒に歌う様子もみられ、皆が一体となり楽しい時間を過ごしています。また、年度末には一年の集大成で発表会を行なっています。病棟ホールを華やかに飾りつけ、普段はいない審査員もあり歌唱力部門と衣装部門を参加者の投票により競い合います。そのため、参加される方は発表会を楽しみにされており、曲のことや衣装のことなど何度も職員に相談する様子もみられます。衣装は、曲に合わせたものからドレスやはっし、ウィッグを付けたりお化粧やアクセサリーなど、とても華やかです。2012年度は、歌唱力部門、衣装部門ともに票がわれることなく優勝者が決まりました。賞をとられた方は大喜びで満面の笑みを見せてくれ、残念ながら賞をとれなかった方は少しだけ落ち込みながらも、次年度への意欲を見せてくれました。次年度も、利用者の方の楽しみの場となるように工夫を重ねていきたいと思います。



(介護福祉士 河野朋子)



卷頭言

施設長 佐藤圭右

一般的な福祉施設の施設長は医師である必要はありません。しかし、重症心身障がい児者施設は、医療的なケアを行う病院であり、そのため管理者は医師でなければなりません。

病院などの医療施設は、お金儲けをする場所ではなく、医療的な判断のもと、行動することが求められています。そのため、医師が管理をしなければならない、と自分は思っています。

では、病院の管理者、院長とは、どのような仕事をすると思われますか。自分も、今のような立場になるまで、実は知りませんでした。

まず、経営を考えなければなりません。

恵の聖母の家では百名を超えるスタッフが

働いています。その方々の生活を保障するためにも、どのくらいの収入を得て、どのくらいを人件費に回して、また、医療機械の更新の時期はいつくらいだからそれまでにいくらくらいを蓄えて、建物も築三十年だから大規模修繕は)のくらいで、また、地震が起きた時のためこのくらいは水や食料のストックを蓄えて、など、細かい計算が必要になってしまいます。同時に災害やリスクへの備えも必要です。

また、多くの人が働いていますから、労務管理も必要です。(つまり、働き過ぎないようになると、スタッフの健康管理や精神面の健康を保つ)ことも必要です。もしかすると職員同士のトラブルもあるかもしれません。昇進や、場合によっては懲戒も考えます。

もちろん、最も大切にしたいのは、利用者さんの暮らしです。その中には医療の管理もあるでしょうが、そのような医師としての眼だけではなく、医療政策や福祉政策にも精通する必要があります。昨今のように福祉政策が目まぐるしく変わるように時代では、ややもすると取り残され、ひいては利用者さんが不利益を被ることになってしま

いけません。

そのため、「行政との連携も大切です。国や県、市町村の皆さんとの話を聞き、意見交換をする」ことも必要です。また、施設同士の連携も大切で、利用者さんの受診などの連携だけでなく、いろいろと情報交換をしていきます。それは、学会などだけではなく、県内、九州内、西日本、全日本などの単位での施設の集まり、会議などがあります。

幸い、恵の聖母の家では、事務長、総師長はじめ、みんなさんがそれぞれの専門性を活かして助けてくれていますので、経営や労務管理の経験のない自分でも、教わりながら何とかやっていきます。

そういうわけで、なかなか診察時間がとれないよ、と思われている外の皆さん、どうかご理解ください。長い言ひ訳でした。

以上のような仕事をしていくと、果たして医師としての仕事はどの程度できるでしょうか。

以前、自分が医師として他の病院で働いた時、急変することもある病棟の患者

の主治医に院長がならないのはまだ理解できるが、なぜ外来の診察日も少ないんだろう、と思ったことがあります。しかし、実際は時間がとれず、やりたくてもそこまでできなかつたということが、今になつてわかりました。

管理者は他の人に任せて、もっと患者さんと接したい、話したいと思うこともあります。

しかし、やはり、時間は少なくとも患者さんに接している医師が管理者にならなければ、その患者さん、利用者さんの思いを他の人に伝えることもできない、とも感じています。

幸い、恵の聖母の家では、事務長、総師長はじめ、みんなさんがそれぞれの専門性を活

かして助けてくれていますので、経営や労

務管理の経験のない自分でも、教わりなが

りません。

そういうわけで、なかなか診察時間がとれ

ないよ、と思われている外の皆さん、どう

かご理解ください。長い言ひ訳でした。



2013年度

仕方がない

事務長 松浦 紳一郎

リアス式海岸は風光明媚といわれ、地元の日豊海岸沿いもドライブすれば目を楽しませてくれるが、今は風景とともに思い浮かぶのが「津波に襲わされたら、この辺りはどうなるの？」

「仕方がない」・・・ 自然災害などに遭遇した時の最終的な言葉でした。

自然災害は不測の事態で「仕方がない」と諦めていましたが「誰の責任か、誰が責任を取るのか」の時代になりました。それは、田舎より人口の多い都会の事かもしれませんか？自然災害に対しては、予防対策も限界が当然あります。何もしないわけではないが、発生したら「仕方がない」そう感じて毎日を過ごしている人も少なくはないと思います。通常、言われるのが発生する事は避けられないが、その際に最低でもどの様に対処すべきかは、普段から考えていなければなりません。災害に遭遇した人の言葉です。「訓練ではない、今日の前で起きていることは全て現実のものだ、訓練と違い予想していない事だらけだ。この差は大変な差だ。でも訓練してて良かった。」



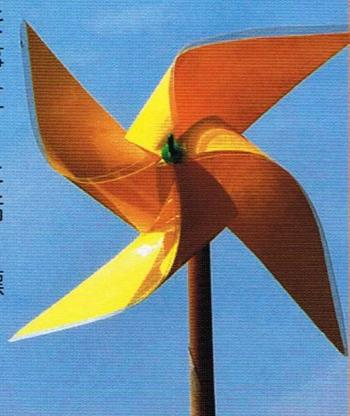
センターとして望まれること

児童発達支援センターめぐみ 課長 井上 勝巳

5月に入り、ますます新緑の風景が映えてきています。見渡す限り、緑に囲まれた自然豊かな環境に私たちの施設があります。木々や草花の色とりどりの変化や野鳥のさえずりを聞いていると季節の移り変わりが心地よく感じられます。平成25年度に入り、障害者自立支援法も障害者総合支援法と名称が変わりました。法律の改正は私どもに心地良く感じられているのでしょうか？

昨年度4月より福祉型児童発達支援センターを運営して2年目を迎えています。センターの受け入れは、主たる障害種別は重症心身障害の方々です。エリアは大分市南部・臼杵市・津久見市・豊後大野市・竹田市・佐伯市と広範囲に広がります。生活介護では10時より受け入れができるので、エリアも拡大はかなりできますが、支援学校に通っている児童・生徒は授業終了後に受け入れるので、送迎の関係上制限が出てきます。主に臼杵支援学校や竹田支援学校の児童・生徒が対象です。昨今、より濃厚な医療ケアが必要な重症児が増えてきています。また、発達が気になるお子さんや集団行動が上手にできないお子さんへの支援も「保育所等訪問支援事業」で実施しています。こちらも保護者からの申請手続きが必要になります。保育園や幼稚園・学校などへ担当者が訪問し学校生活での対応を先生や保護者と一緒に考えて考え方指導・助言を行っています。ますます、関係機関との連携が必要な時代になりました。相談支援事業所「こころ」ではこのようなサービスを実施できるよう、サービス等利用計画を立案しています。こちらも相互の調整が必要な大切な事業です。

このように、センター職員としてより質の高いサービス提供が望されます。そのためにも、スタッフ一同が利用される方々の素敵な時間、子どもたちの楽しい集団生活ができるよう努力していきたいと考えています。通所では受け入れ増加に力を入れ、また職員一同が一体感をもって利用児者への温かなサービス提供ができることを目標に頑張ります。今後ともご指導ご鞭撻をお願いできれば幸いです。





祇園祭り

医局



小児科医師 長倉 智和
京都の夏はとにかく暑い・・・。
州もたいがい暑いと思うのだが、京都
は湿度が高く同じ気温でもやたらと暑
く感じる。

七月の中旬。テレビが今日の最高気
温が三十七度であることを告げる。「体
温と同じやん! もう暑くて何もやる
ましよか。」と覚えたての関西弁? 独りつぶやき寝転がる私。しかし、家
族はそれを許さない。「今日は祇園祭り
に行くつて約束したでしよう。さあ、
早く準備して!」せかされるように身
支度を整えて地下鉄の駅に向かう。国
際会館駅から地下鉄に乗り、四条駅で
下車。階段を駆け登ればそこは京都の
中心部、四条烏丸である。どこからとも
なくお囃子が聞こえてくる。「コンチ
キチン、コンチキチン」響き渡る綺麗
な音色、優雅な装飾の施された山と鉾
大観衆の熱気 すべてが融合した特殊
な空間がそこにあった。聞くところに
よれば、この週末だけで約四十万人の
観光客が祇園祭りを見るために京都へ
訪れているのだとか。「これが・・・祇
園祭りかあ」今までに見たことのない
スケールの大きさに圧倒される。私た

翌日は祇園祭りのハイライトである
山鉾巡行が行われた。三十二基の山鉾
が大観衆の見守る中、京都の市街地を
巡回していく。何といっても見どころ
は、鉾が交差点で九十度方向転換する
「辻回し」である。(鉾の車輪は構造上
方向転換が無理なため、路面に青竹を
敷き水をかけ滑らして向きを九十度変
える)特に長刀鉾の辻回しは、見てい
る方も思わず力が入ってしまう。何十
人の男衆が鉾を回そうとするが、さ
すがに長刀鉾、一回では少しの角度し
か回らない。辻回しを試みること四回
目、大きな大きな長刀鉾が四条烏丸の
交差点で九十度向きを換えると、周辺
を埋め尽くしていた大観衆から大きな
歓声があがった。

五山の送り火

京都の夏のもう一つのイベントとい
えば毎年八月十六日に行われる「五山
の送り火」である。ちょうどこの時期
になると学生はお盆休みで実家に帰省
するため、研究室は閑散としている。
「よし、今日は家族で五山の送り火を見
よう!」いろんな人に、どこから見

ち家族は人ごみを搔き分けながら、祇
園祭りの山鉾の中でも特に別格とされ
ている長刀鉾へと進んでいった。三歳
の娘は押しつぶされそうな人ごみの中
で半ベソになっている。長刀鉾の周辺
には一際多い人だりが出来ていて、帰
り疲病災難よけのお守りにするもの
はもう売り切っていた。出店で売られ
ていたかき氷を食べながら、私たち家
族はしばし祭りの雰囲気に酔いしれ
た。

翌日は祇園祭りのハイライトである
山鉾巡行が行われた。三十二基の山鉾
が大観衆の見守る中、京都の市街地を
巡回していく。何といっても見どころ
は、鉾が交差点で九十度方向転換する
「辻回し」である。(鉾の車輪は構造上
方向転換が無理なため、路面に青竹を
敷き水をかけ滑らして向きを九十度変
える)特に長刀鉾の辻回しは、見てい
る方も思わず力が入ってしまう。何十
人の男衆が鉾を回そうとするが、さ
すがに長刀鉾、一回では少しの角度し
か回らない。辻回しを試みること四回
目、大きな大きな長刀鉾が四条烏丸の
交差点で九十度向きを換えると、周辺
を埋め尽くしていた大観衆から大きな
歓声があがった。

五山の送り火

京都の夏のもう一つのイベントとい
えば毎年八月十六日に行われる「五山
の送り火」である。ちょうどこの時期
になると学生はお盆休みで実家に帰省
するため、研究室は閑散としている。
「よし、今日は家族で五山の送り火を見
よう!」いろんな人に、どこから見

日常の五心

理学療法士 橋口 奈菜美

訓練



今年に入つて自分を見つめ直そ
うと思う機会があり、それから心
に留めている心得があります。そ
れがタイトルにある「日常の五
心」というものです。短い文章な
ので紹介したいと思います。

一、すみません、という反省の心
二、はい、という素直な心
三、おかげさま、という謙虚な心
四、ありがとうございます、という奉仕の心
五、ありがとうございます、という感謝の心

シンブルに表現されています
が、初めて読んだとき私の憧れる
人間像だと感じました。すごく簡
単で当たり前のことが書かれてい
るのですが、気持ちに余裕のない
ときなど言っていることと表情や
行動が伴わない場面があり、自分
を省みると自分の思う人間像とか
離れている今を生きているのだ
と思えました。

それからはいつでも目にすること
ができるよう自宅・職場に五心
を立て掛け、自分の立居振舞を思
い返す・人に会う前には一度読ん
で気持ちを入れ替えるよう心がけ
ています。

みなさんも、自分の心に響く詩
や一言を心に留めてみると自分を
客観的にみることができ、もう一
歩前へ進む糧になるかもしませ
んよ。

日常の五心 作者不詳

できごと

2013年3月31日 ご復活祭ミサ

交流ホームで、潔き聖母の家、恵の聖母の家の皆さまとともにキリストの復活をお祈りしました。復活というのは「この世だけでなく、神の国がある」ことを示すものです。復活のごミサにあすかってお恵みをたくさんいただきました。



重症心身障害児者専門研修の終了にあてて

九州地区の定める重症心身障害児者専門研修が終了しました。重症心身障害の特性をそこに勤める職員が正しく理解し、知識を深め、介助にあたろうという目的があり、「重症心身障害療育マニュアル」の抄読とレポート提出が定められていました。2年間でマニュアルを、看護師は更に一年、重症心身障害児者医療ハンドブックを使って学習するように決まっており、現在、ハンドブックでの学習をしています。2011年6月にスタートした専門研修も2年が経過しようとしています。レポートの提出は勤務をしながらであり、大変だったと思いますが、ご協力いただき、マニュアルの専門研修は無事終了しました。ありがとうございました。

(看護師 工藤佳絵)



ルルド祭 2013年5月12日

ルルドの丘で聖母マリアさまをお祝いするごミサがありました。恵の聖母の家からも2名の入所者が出席しています。司教様も来られて、「新しい教皇様は、鎖国であったにも関わらず信頼を守り通じた日本が好きであること」を例にして、信仰の大切さをお話して下さいました。



テレビ局の取材

当施設でアニマルセラピーの方がボランティアで入所者についている「動物ふれあい活動」のテレビ取材が4月から5月にかけてありました。7月3日(水)に「旬刊!3ch」(OBS放送 19:00~20:00)で放送される予定です。お時間のある方はぜひご覧下さい。



2013年2月2日(土)~2月3日(日) 節分

節分の行事を通して、春が間近であることを伝えています。事前に「泣いた赤鬼」のお話や歌をうたって雰囲気を作っています。あゆみの広場では、豆まきの他に鬼とつなひき、そして野球も行って、福の神の登場で皆と一緒に踊って楽しみました。ひかりの大地では「鬼のパンツ」の歌遊びで楽しめたようです。お菓子も美味しいいただき、いい時間となったようです。翌日は福祉レクリエーションとして鬼と一緒にゲーム等を行っています。鬼を怖がる利用者の方も次第に慣れ、鬼役の職員ともやりとりを楽しめる方もおられたようです。また、鬼がばらまいた豆(玉)をたくさん拾って回る方もいて、ゲーム感覚で楽しんだり、色塗りも合わせたピンゴゲームでは、きれいに絵を仕上げる方もいて、皆で楽しむことができました。



2013年3月1日(金)・3月3日(日) 雛祭り

1日はホールで行っています。クイズ形式で雛祭りの話しが投げかけると、利用者の方も考えて下さって、質問に対しては笑顔で「はい」と返事を返して下さいました。連想ゲームも行っていて、「おにぎり」と嬉しそうな表情で回答があつて楽しめている様子でした。輪投げでは何度もチャレンジされる方もいて、夢中になれる時間となったようです。行事は雛祭りの由来を知り、楽しい時間を過ごすことを目的としています。雛人形の由来は壁面画を使用して説明しています。おやつを後にした点もあり、説明に集中して下さったようです。壁面の前では雛飾りを置いて写真も撮ることができました。雛人形を並べるゲームでは得点の競争等に楽しめたようです。お手玉も上手い方からいて、皆で協力して楽しい時間が過ごせたようです。レクでは福笑いに似た内容のものを行っています。男性チームにはお内裏様、女性チームにはお雛様を、くじをひきながら作っています。番号のものを少しずつ貼っていき、男性チームはくじ番号が野球帽子になってしまったようで、元気の良いお内裏様ができあがつてしまつたようです。



第35回九州地区重症心身障害研究会

3月2日に福岡県の九州大学医学部百年講堂で開かれました。当施設からも3つの事例を発表させていただきました。その中の「ボランティアコーディネーターの取り組み」に対して優秀賞をいただくことができました。今後も利用者の生活がよくなるように取り組んでいきたいと思います。関係者の皆さん、ありがとうございました。



2013年5月9日 リバーパーク犬飼

1名を除いて、4名の方が参加できました。

気候もよく、日陰を気持ち良く感じて、芝の上の移動で車椅子の揺れに目を開けられた方、車の中では緊張がみられたものの、現地のオリエンテーリング後の散歩ではリラックスされて穏やかに過ごされた方、目を開けたのは帰る頃になってしまった方も周囲をみて、自然を感じることができたようでした。他に、風や周囲の賑やかな声、ご家族の声に笑顔をみせてくれた方もおられました。皆さん、お疲れさまでした。

平成25年度行事予定

月	日	内 容
4	4 木	施設外療育 吉四六ランド
	11 木	施設外療育 道の駅きよかわ
	25 木	施設外療育 原尻の滝
5	9 木	施設外療育 犬飼リバーパーク
	12 日	ルルド祭
6	23 木	施設外療育 津久見イルカ島
	30 木	施設外療育 真杵石仮
7	22 土	ふれあい運動会
	27 木	施設外療育 明野アクロス
8	11 木	施設外療育 真杵マルショク
	15 木	聖母被昇天祭・故利用者追悼ミサ
9	14 土	家族の日
	26 木	パークプレイス大分
10	1 火	室内レク
	10 木	施設外療育 原尻の滝
	24 木	施設外療育 パークプレイス大分
12	31 木	施設外療育 真杵マルショク
	14 土	クリスマスの集い
	19 木	餅つき
2014年	24 火	サンタプレゼント
	25 水	クリスマスミサ
1	1 水	お正月行事
2	3 月	節分
3	3 月	ひなまつり

※ 事情により変更の場合があります。

歯科治療

2013年に入って、みえ病院から歯科の先生が来られて入所者の歯科受診を行っています。最初はご家族のご希望で始まりましたが、病棟でも対象者を募って火曜日の午前中に歯石の除去等を行っています。歯科医師の桑田隆昭先生は「歯を悪くしないように職員の皆さんと頑張っています」とおっしゃっていました。これからも歯を大切にしましょう。



おでかけ

施設外療育

2013年4月4日 吉四六ランド

参加予定の方5名全員が参加できました。桜の時期を考えた活動でしたが、今年は開花が早く、花見を味わうには至りませんでした。それでも天候に恵まれ、レクリエーションではオリエンテーリングでクイズを解きながら、楽しく過ごすことができました。



2013年4月11日 道の駅きよかわ

参加予定の6名全員が参加できました。天候もよく、現地でもウトウトしながら過ごされた利用者もおられたようです。ご家族の参加もあり、お母さんの声かけに目を開けて気付かれた方、アイスクリームやスイーツを美味しいいただき、その様子をみてご家族も安心されたり、現地でたたよっていた焼き芋の香りに周囲を見回して、かぼちゃのプリンをいただいて嬉しそうに満足された方、購入前のにおいぎりをさっそく開いて食べようとされた方もおられたようですが、参加者全員に賑やかでいい時間となつたようです。



2013年4月25日原尻の滝

6名の参加で、外は暑かったためか、落ち着けなかった方も涼しい店内に入ると穏やかな表情になり、リラックスされて、購入された巾着袋のヒモを楽しく持っていました。車内ではリラックスして眠っていた方も、現地ではご家族と一緒に楽しめていました。また好きな紙破りを行ってご家族とリラックスして過ごされた方、お店でTシャツをみて喜ばれて、その他は商品よりも滝を見て楽しめた方、風を感じて表情良く過ごされて、普段の生活で口に手を運ぶ姿も見られなかった方とそれぞれに楽しめた様子でした。





児童発達支援センターめぐみ

前回は相談支援（計画相談）の手続き流れについてお話ししました。今回は現状についてお伝えします。臼杵市では地域自立支援協議会の下部組織として相談支援部会が平成二十五年四月に相談支援部会を立ち上げました。臼杵市相談支援部会の委員は「さぼーとセンター風車」「くれよん」「地域生活支援センター」とよみ園」「恵の聖母の家相談支援事業所こころ」と市障害福祉課の計画相談受付担当者で委員が構成されています。サービス利用計画書については、恵の聖母の家では大部分より、四月生まれの方々から順にサービス利用計画書の提出を求められています。順次計画案を作成するために、施設の担当者や保護者（成年後見人）へ連絡調整を行い、相談支援事業所との契約や計画案の確認作業を行っています。サービスが先行しているため、困惑する保護者（成年後見人）、そして施設の職員などに内容の周知が必要です。計画相談について概要を理解していただきたために、ミニ勉強会を二度行いました。また、保護者会を通じてお話しをさせていただき、個別に連絡調整を行う際に詳しく説明をさせていただいています。対象となる方の一日の生活、一週間の生活や年間の活動や行事などについて、保護者や施設担当職員より聞き取り、利用される方が健健康で毎日の楽しい生活が送れるよう計画を進めているところです。

相談支援専門員 井上 勝巳
前回は相談支援（計画相談）の手続き流れについてお話ししました。今は現状についてお伝えします。臼杵市では地域自立支援協議会の下部組織として相談支援部会が平成二十五年四月に相談支援部会を立ち上げました。臼杵市相談支援部会の委員は「さぼーとセンター風車」「くれよん」「地域生活支援センター」とよみ園」「恵の聖母の家相談支援事業所こころ」と市障害福祉課の計画相談受付担当者で委員が構成されています。サービス利用計画書については、恵の聖母の家では大部分より、四月生まれの方々から順にサービス利用計画書の提出を求められています。順次計画案を作成するために、施設の担当者や保護者（成年後見人）へ連絡調整を行い、相談支援事業所との契約や計画案の確認作業を行っています。サービスが先行しているため、困惑する保護者（成年後見人）、そして施設の職員などに内容の周知が必要です。計画相談について概要を理解していただきたために、ミニ勉強会を二度行いました。また、保護者会を通じてお話しをさせていただき、個別に連絡調整を行う際に詳しく説明をさせていただいています。対象となる方の一日の生活、一週間の生活や年間の活動や行事などについて、保護者や施設担当職員より聞き取り、利用される方が健健康で毎日の楽しい生活が送れるよう計画を進めているところです。

こころ



生活介護



という気持ちになります。
これからもスタッフ全員と力を合わせて利用者の皆さんのが笑顔でいられるように努力したいと思います。

「めぐみ」にかえつて

看護師 梶原 澄子

私は、約一年前に恵の聖母の家を定年退職しました。その時は、もう看護師として働くことはないだろうと思つていましたが、昨年十月に「児童発達支援センターめぐみ」でスタッフの一員として勤務する機会をいただきました。センターを利用する皆さんを注意深く観つめながら、その時の状況に応じて体温調節、吸痰、安楽な体位をとるなど、必要な援助を行い、皆さんに快適に楽しく有意義な時間を過ごしていただけるように日々努力をしていま

放課後等デイサービス



皆さまに感謝しつつ

主任 松山 修一

平成二十四年度から始まった放課後等デイサービスも二年目に入りました。これもひとえに関係者の皆さまのご理解ご協力のおかげと感じています。また、今年の四月からは学校の通学バスのルートに当センターを加えていただき、臼杵支援学校をはじめとする関係者の皆さまのご尽力にスタッフ一同大変感謝しているところです。ありがとうございました。どうぞ

支援学校の皆さんからは日中の児童の過ごし方の他に、学校で行われる公開授業や学習発表会、そして運動会を通して、児童の素晴らしい指導のあり方に改めて気付かせていただき、障がい者交流センターすくらむで開かれがい者交流センターすくらむで開かれます。今後もより良いサービスができるよう努めたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

気持ちの貯金

平成二十一年から個別支

援委員として、病棟入所者の個別支援計画に関わらせていきました。平成二十

五年度からは生活福祉課や個別支援委員会を中心にお進められています。

個別面談の方では、日程の連絡調整等で主にご家族にご相談させていただきま

した。どなたもお忙しい中、また時にはおぐつろぎのところ、丁寧に応じていただき

いたことに大変感謝しております。

その個別面談の中では、進行を行う中でご家族の思いを聴かせていただきまし

た。個別面談を始める前は、ご家族の要望に応えられるかの不安もありましたが、

恵に入る時の決断や朝起きるとまず恵に感謝していること等、他にもたくさんの

お話を耳にしました。この連絡調整や面談でお気持ちを話して下さるのも先輩

職員ご家族の関係が積み重ねてきた気持ちの貯金があつたからと感じています。今後も貯金がますます増えていきますように。

この気持ちになります。
これからもスタッフ全員と力を合わせて利用者の皆さんのが笑顔でいられるように努力したいと思います。

今後もより良いサービスができるよう努めたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

（松山修一）



看護 護

私の趣味



看護師 足立 輝美

私の趣味は旅行です。最近では年に四、五回は出かけています。仕事の都合上長いお休みはなかなかとれないのですが、でもつぱら国内で、海外でもアジア圏の韓国や香港、シンガポール、タイなどにしか行けてませんが・・・。今年は三月に沖縄、四月に韓国のソウルに行ってきました。私の旅行は添乗員さんもいなし、決められたコースもないフリーープランの旅で、飛行機とホテルのみ予約してあとは行き当たりばったり、その日のお天気とも相談し、行動しています。

沖縄ではもつぱら離島を観光しました。たまたま飛行機を予約した日が新

石垣空港の開港日で石垣島は島を挙げてのお祝いムードでいっぱいでした。地元出身のB-G-NEや夏川りみが無料ライブをやっていました。市内中心部ではパレードもありました。

レンタカーでドライブしていたら野生の「冠ワシ」や「やんばるぐいな」と遭遇したり、夜光貝などでつくったアクセサリーのショップで飼い犬のななすけくんとアイスクリームを分けあって食べたり、夜は地元の民謡ライブの聴ける居酒屋さんで島唄を聞きながら、他の観光客の人たちと盛り上がり、

竹富島では水牛車に乗り、きれいな海も堪能しました。

韓国では朝は地元の人が並んで買つていたトースト屋さんで朝食を摂り、明洞(ミョンドン)のコスメショップや屋台を散策したり、韓国の伝統的な家屋が並ぶ北村(ペクチヨン)を散歩し、伝統工芸品や売られている仁寺洞

(インサドン)で伝統茶を飲みながら韓定食を食べ、有名大学がある新村(シンチヨン)で安くてボリュウムのある風ごはんを食べ、女子大の近くではかわいい雑貨やさんを見つけました。芸術大学の近くでは家の壁にかわいい絵が描かれていたり、ふだん観光しないようなところにも行つきました。最終日には地元の人しか行かないようなサウナ(チムジルパン)でおばちゃんにあかすりをしてもらい、旅の疲れを取り、お土産は大型スーパー「マーケット」でキムチやチャンジャ、お菓子やお茶などを買いました。キムチ売り場のおばちゃんたちと片言の韓国語で会話をしたり、あかすりのおばちゃんからもいろいろ話しかけられたり、地図を見て迷っていたらおじさんが声をかけてくれたり、変な金髪の外人さんからもなぜか日本語で話しかけられたり、なかなかふれあいの多い旅になりました。

これからも、いろいろなところに出かけ、いろんな人と出会い、文化にふれ、刺激をもらつてきたいと思います。今度は何処に出かけようかな・・・。お勧めのところがあれば是非おしえてください。

関わりを通しての療育

生活福祉



保育士 長野 祐子
あゆみの広場は医療ケア中心の病棟です。まずは体調管理が主となっています。常に医師や看護師の手厚い医療ケアがあり、一人ひとりのことを一番に考えててくれています。そのような中での保育士の役割としては、医療的ケアは出来ませんが、日常生活支援の中で細かな観察や利用者とのコミュニケーションが大切になってくると思っています。

現在、二十名の方が生活しておられて、それぞれ表現力も個性的です。発声、何らかの仕草をサインとして読みとつて、何を伝えようとされているのか、要求されているのか、出来る限り、相手の気持ちになってくみ取るように心掛けています。その時を大事に関われば、必ず相手も心地よい表情で返してくれます。心の交流ができる瞬間は私自身の喜びです。また、そこから新しい発見を探り、もつといろいろな力を引き出し、輝かせたりなります。

このように、利用者と日々のコミュニケーションを行い、また季節の行事、レクリエ

ーションでは今の時代のものを少し取り入れながら、快適に過ごしてもらいます。多くの人は楽しいものにときめいたり、美しい花や風景を見て感動したことがあると思います。そのような「感動体験」を利用者の皆さんにもたくさんしていただけますよう、普段の関わりを大切にしていきたいと考えています。



— 療育場面 ピエロ活動から —



保護者の皆様から



息子と歩んだ日々を振り返って

安藤 和代

「息子さんは、おそらく先天性の病気です。詳しいことを精密検査で調べましょう。」と、突然の告知を受けて14年がたとうとしています。その後の検査で、進行性の難病であることがわかりましたが、当時の私は、事実を受け止めることができず、泣いてばかりの日々を過ごしていました。しかし、検査のために入院した小児病棟で、一生懸命に生きようとしている子どもさんや、それをサポートしている家族の姿を目の当たりにして、「自分たちだけではないんだ。しっかり生きていかなくては・・・。」と思うようになりました。また、主治医の先生から「普通に生きていくことが大事ですよ。」というアドバイスをいただき、私たちでできることは何でもさせていこうと決めました。それから、リハビリに通ったり、保育園で地元の子どもたちと過ごさせたり、お祭りや家族旅行にも出かけたりしました。現在は、小学校から入学した臼杵支援学校で、多くの先生方やお友達に出会い、自分の世界を広げています。恵の聖母の家にも、三年前からリハビリ通院す

るようになり、一年前からはデイサービスも利用するようになりました。息子の気持ちを大切にしていただきながら、様々な活動を体験させていただいていることや、スタッフの皆さんのが、献身的にサポートして下さっていることに、心より感謝しています。おかげで、私たちは安心して、自分たちの仕事に向き合い、穏やかに生活することができます。

時々、「子どもさん大変ですね。」と声をかけられます。確かに大変なこともあります、息子を通して、多くの方に出会い、温かな思いやりや優しさに触れることができました。いろいろな世界を知ることができました。今後も恵の聖母の家をはじめ、多くの方にサポートしていただきながら、家族でしっかりと歩んでいきたいと思います。

皆さん、これからもよろしくお願ひします！！



<上 カード作り>



<右 レクリエーション>

支援学校訪問教室



「共感し合い、言葉を育む」

臼杵支援学校 横山 由美

昨年度、聾学校から臼杵支援学校に異動になりました。聾学校には11年間勤めておりましたが、この異動を期に手話や指文字等を使うことはないだろうと思っていました。ところが赴任して聴覚に障がいのあるお子さんを担当することとなり、聾学校での経験が何かお役に立てるのではないかと、1年間手話や指文字を取り入れて実践して参りました。

そのお子さんが「めぐみ放課後等デイサービス」を利用されている関係で、指導員や保育士の方々とも連携させて頂いております。また、学校での指導の様子を見学に来ていただいたり連絡帳を丁寧に読んで頂いたりして、学校で行っている指導をデイサービスの活動でも同様に、あるいは応用して実践して頂き、大変ありがたく思っています。聞こえにくいお子さんのコミュニケーションや言葉の獲得の第一歩は、周りの人と繋がりたい、話したい、共感し合いたいという気持ちを尊重し育てることだと

思っています。学校やデイサービスでの楽しい経験を身近な人と共有し、それを言葉で伝えあい共感することで、情緒も安定し言葉も育っていきます。

担当しているお子さんは、デイサービスでの様子を「めぐみで、うみたまごのテレビを見たよ」「加藤先生は〇月〇日が誕生日だよ」など、嬉しそうに小さな手をひらひらさせて手話や指文字で伝えてきます。新しい言葉も目を見張るように吸収しています。めぐみでの楽しい経験に、言葉を添えて連携して頂いているおかげだと感謝しております。

これからも、たくさんの方々とコミュニケーションする経験を保障できたらと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。



<授業の一場面から>

☆ ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか ☆

新しく入られたスタッフをご紹介します。①お名前②職種③お住まい④趣味⑤一言



①日高亮（ひだか りょう）さん
②理学療法士③大分市④車をもったのが最近なので、休みの日はどこか知らない所にドライブに行ったりします。⑤まだまだわからないうことが多いですが、少しずつ覚えて皆さんのお役に立てるように頑張ります。



①大石和（おおいし かず）さん
②看護師③大分市④看護師になって10年になります。今年3月に大学院を卒業しました。これまで慌ただしかったので、ゆっくりと時間を大切にしています。⑤障害児福祉は未知の世界で、社会福祉も学んでいきたいと思います。よろしくお願ひします。



①高畠悠太（たかはた ゆうた）さん②作業療法士③佐伯市④野球・車・バイク⑤作業療法士になって帰ってきました！今年からはOTとして利用者様や職員の方たちの力になりたいと思っています。



①藤北真弓さん②看護師③野津町④外国の音楽が好きです。韓流ドラマのサウンドトラックとか好きです。⑤5年ぶりに恵に戻ってきました。その頃と比べてかなり変わっているので、いろいろとわからないこともあるかと思います。よろしくお願ひします。



①阿南まみさん②管理栄養士③野津町④友だちと美味しいものを食べに行ったり、買い物をするのが好きです。⑤大学を卒業し、地元の野津町で就職をすることができ、とても嬉しいです。早く仕事を覚えて頑張ります。よろしくお願ひします。



①染矢詩子（そめや うたこ）さん②看護師③弥生町④プチプチ農業（お米作り）をしています。大分市の慰問のグループでクラシックギターを弾いたりしています。⑤豊かな環境の中で勤務できることを幸せに思います。よろしくお願ひします。

お知らせ

▼ 障がい者交流センターすくらむでは、定期的に「親の会」が開かれています。障がいや福祉について、保護者や行政の方、関係事業所の方が集まって情報の交換等をしています。関心のある方はどうぞご利用下さい。（電話 0972-63-5888 さぼーとセンター風車）▼恵の聖母の家では2013年度から地域療育等支援事業の一つである巡回相談を始めました。豊後大野市は6月6日、10月17日、2月6日、臼杵市は8月9日の予定です。▼恵の聖母の家のFACEBOOKを開設しています。今後、少しずつ施設の様子等をアップしながら、皆さまと交流ができればと思います。どうぞご覧下さい。

匿名二名様

平成二十四年度、次の皆さまからご寄附を頂きました。感謝申し上げます。

▼めぐみ会様・株式会社そりん様・

竹養父母会様・熊埜御堂正資様・さくら産婦人科様・柴田重人様・大分県共同募金会様・長谷栄様・学校法人後藤学園様・臼杵市社会福祉協議会様・他

ご寄附

				新規採用
二〇一三年五月	二〇一三年四月	二〇一三年四月	二〇一三年四月	一日付
看護師 染矢	看護師 藤北	看護師 大石	看護師 阿南	高畠 悠太
二〇一三年五月一日付	二〇一三年四月一日付	二〇一三年四月十三日付	二〇一三年四月十三日付	高畠 悠太
信子様（厨房）	悦子様（洗濯場）	京子様（事務）	紗智子様（言語聴覚士）	庄田 佐藤 染矢 山口

▼退職
二〇一三年三月三十一日付
ありがとうございました。
今後のご活躍をお祈りしております。



人事

行事予定

*青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ●…個別面談 ○…権利擁護・虐待防止部会 ④…全体朝礼 ⑤…労働安全衛生委員会 ⑥…リスクマネジメント部会 ⑦…入浴日

2013年7月			8月			9月			10月		
1	月	⑦	1	木		1	日		1	火	④⑤⑥室内レク
2	火	④⑤	2	金	⑦	2	月	⑦	2	水	⑦
3	水	⑦	⑦	3	土	3	火	④⑤	3	木	
4	木		4	日		4	水	⑦	④	金	⑦
5	金	⑦	5	月	⑦	5	木		5	土	
6	土		6	火	④⑤⑥	6	金	⑦	6	日	
7	日		7	水	⑦	⑦	土		7	月	⑦
8	月	⑦	8	木		8	日		8	火	◎
9	火	◎	9	金	⑦	9	月	⑦	9	水	⑦
10	水	⑦	10	土		10	火	◎	10	木	原尻の滝
11	木	臼杵マルショク	11	日		11	水	⑦	11	金	⑦
12	金	⑦	12	月	⑦	12	木		12	土	
13	土		13	火	◎	13	金	⑦	13	日	
14	日		14	水		⑦	14	土	家族の日	14	月
15	月	⑦	15	木	聖母被昇天祭ミサ	⑦	15	日	誕生会	15	火
16	火	◎	16	金	⑦	16	月	⑦	16	水	
17	水	⑦	17	土		17	火	◎	17	木	⑦
18	木	①	18	日	誕生会	18	水	⑦	18	金	⑦
19	金	⑦	19	月	⑦	19	木	①	19	土	
20	土		20	火	◎	20	金	⑦	20	日	誕生会
21	日	誕生会	21	水	⑦	21	土		21	月	⑦
22	月	⑦	22	木		22	日		22	火	◎④
23	火	◎④	23	金	⑦	23	月	⑦	23	水	⑦
24	水	⑦	24	土		24	火	◎④	24	木	パークプレイス大分
25	木		25	日		25	水	⑦	25	金	⑦
26	金	⑦	26	月	⑦	26	木	パークプレイス大分	26	土	
27	土	ボランティア公演	27	火	◎	27	金	⑦	27	日	
28	日		28	水	⑦	28	土		28	月	⑦
29	月	⑦	29	木		29	日		29	火	◎
30	火	◎	30	金	⑦	30	月	⑦	30	水	⑦
31	水	⑦	31	土					31	木	臼杵マルショク

*予定変更の場合があります。

編集後記

ゴールデンウィークにボランティア休暇を合わせて、岩手県釜石市でボランティア活動を行ってきました。活動の合間に被災地区を見て回る機会がありました。4頁の陸前高田の写真のように、まだまだ復興には時間と支援が必要なようです。今後とも何かしらお手伝いができればと思います。この2013年度が皆さまにとって良い一年となりますように願っております。(S.M)